

備前市事務事業評価表

事務事業名	学校運営事務局事業		コード	06-01-18-04
			担当課・係	学校教育課
			担当者	重成育枝
事業実施期間			電話	64-1840
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり		
	中項目(基本施策)	未来を支える人材を育むまちづくり		
	小項目(施策)	その他事務管理		

事業について	学校園管理下での児童生徒等の災害について、学校設置者の災害補償に関する事務を行う。 校園長を通じて教育委員会の施策や教育の動向の周知を図ることで、適切な学校運営の支援を行う。	
目的 (何のために)	学校園管理下での児童生徒等の災害について、学校設置者の災害補償に関する事務を行う。 校園長を通じて教育委員会の施策や教育の動向の周知を図ることで、適切な学校運営の支援を行う。	
対象 (誰・何を対象に)	幼稚園、小学校、中学校、高等学校の幼児・児童・生徒 幼稚園園長、小・中・校等学校校長	
内容	独立法人スポーツ振興センター負担金（幼稚園・小学校・中学校・高等学校）の支出 校・園長会の開催	

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

実施項目	17年度		18年度		回数など (単位)
	回数	など (単位)	回数	など (単位)	
学校事故発生件数	341	件	328	件	
振興センター加入者数	4,006	人	3,928	人	
全幼児児童生徒数	4,016	人	3,930	人	
校園長会実施回数	6	回	6	回	

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	3,883	経費補助金等		直接事業費	3,685	経費補助金等		直接事業費		経費補助金等	
	人件費	5,150	委託者負担		人件費	2,570	委託者負担		人件費		委託者負担	
	市債			市債				市債				
合計	9,033	一般財源等	9,033	合計	6,255	一般財源等	6,255	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.60 人		0.25 人		
結果指標名	幼稚園・学校事故発生件数		幼稚園・学校事故発生件数		
結果指標量	341 件		328 件		
単位	件		件		
対前年比	-		96.19%		0.00%
活動にかかるコスト	5,967,000 円		4,619,000 円		
単位当たりコスト	17,499 円		14,082 円		
結果指標名	校園長会実施回数		校園長会実施回数		
結果指標量	6 回		6 回		
単位	回		回		
対前年比	-		100.00%		0.00%
活動にかかるコスト	1,545,000 円		771,000 円		
単位当たりコスト	257,500 円		128,500 円		

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果	どのような成果を得ようとしているか		
	学校園管理下での児童生徒の事故が減少することが第一であり、事故発生の際には、必要な災害給付が適切になされること。		
成果指標名	学校事故発生率 (%)	式又は説明	事故発生件数 / 全幼児児童生徒数 × 100
	17年度	18年度	
成果指標量	8	8	
対前年比	-	100.00%	0.00%
到達目標値	6	到達目標年度	平成20年度

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価 <A-E> B
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	学校園管理下の災害に対する補償給付に係る負担金は法令に定められており妥当な事業である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価 <A-E> B
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	日本スポーツ振興センターの互助共済制度では、国・学校設置者・保護者の三者が相応の負担をしている。従い市のコストや保護者の負担を削減していくためには事故発生を減少させていく必要がある。
職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい		
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである	有効性評価 <A-E> C
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	学校等における事故発生を減少させるため安全面に配慮した指導の在り方を今一度再点検する必要がある。

平成19年度の状況		説明 学校園管理下での児童生徒等の災害について、学校設置者の災害補償に関する事務を行う。 校園長を通じて教育委員会の施策や教育の動向の周知を図ることで、適切な学校運営の支援を行う。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 300	
	成果指標量 7	

総合評価	事故発生の際には、必要な災害給付が適切になされている。また学校管理下の事故発生は起こりうるもので、この事業は必要である。	評価区分 <A-E> B
------	--	--------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--

平成20年度以降の改善事項	評価の視点 有効性	改善内容 児童生徒に対して安全の意識を高めるよう学校に指導する。	改善時期 20年度	改善により期待される効果 生徒の意識が高まり、事故発生件数が減少する。
---------------	--------------	-------------------------------------	--------------	--